

祖母傾馬蹄形縦走

【報告者】S田

【日時】平成30年12月29～31日

【天候】晴/曇

【参加者】S田

《コースタイム》

12月28日（金）20:00 上畑登山口着（車中泊）

12月29日（土）5:30 上畑登山口出発－6:19 九折駐車場－7:26 九折登山口－8:54 三ツ尾－（水場コース）－11:47 傾山頂－13:30 九折越小屋－14:55 笠松山－15:30

12月30日（日）6:30 出発－7:21 本谷山－9:04 縦走路中間点－9:40 尾平越え－11:50 古祖母山－13:39 障子岳－16:07 祖母山－16:40 祖母山九合目小屋

12月31日（月）6:20 小屋出発－7:10 宮原－8:59 八丁越－9:53 大障子岩－11:59 前障子岩－14:28 上畑（障子）登山口

《 報 告 》

今年の自身のテーマ「縦走」の締めくくりとして、祖母傾馬蹄形縦走を計画した。1日で縦走を完遂した方、初日に九合目小屋まで到達された方々の報告を見るが、どうも自分の体力では現実的ではない。できる事ならツェルト泊を避け、初日に山小屋まで到達したいが、おそらく山中2泊となるだろうなどと考えながら現地に着。九折貯水ポンプ場までの舗装道路を車で下見した後、健男社参道下の駐車場（携帯電波状態良好）にて車中泊。単独であることから、無理せず日の出から日の入りまでの行動と決めるが、下山後に鬱陶しい上畑～九折間の舗装道路を歩きたくなかったのと、暗い時間帯の有効活用を兼ねて、初日は上畑（健男社）の出発を**5:30**とした。稜線上は風が強いようで、時折聞こえてくる轟音に身体と気持ちが怯む。**6:20** 登山口（登山口ではないが駐車場や案内板がある。実際の九折登山口は、観音滝を越えて林道と合流する地点）到着。夜明けを待ち**6:30** 出発。観音滝を経て九折登山口に到着した時間を確認した時点で、当会のスーパーマンと同じように歩く事は早々に諦め、本日のツェルト泊を覚悟する。今回の食糧はカロリーメイト 1,000 キロカロリー／日×3、ミックスナッツ、チョコ、夜（ラーメン・缶詰）とし、こまめな栄養補給を意識した。雪は標高 1,400m 付近からうっすらと残っている。三ツ尾に出た途端、強風に曝されるようになる。衣類調整の感覚を掴むまでは、身体を冷やさないように厚着を心がけた。ルートは迷わず水場コースを選択したが、主尾根の左下部をトラバースするルートであることに加え、倒木や岩稜部回避のため、ルートが非常に分かりづらかった。問題なく水場での補給を行い先へ進み 11:47 傾山頂へ到着。定時連絡をするなどして大休止を取る。



(写真1：傾山頂より祖母山を望む)

2日目の朝、体調は悪くないが気持ちは完全に萎え、尾平から下山することばかり考えるようになり、しまいには尾平からのコミュニティーバスの時刻表まで調べ始める始末。情けないが本当につらかった。下山の事ばかり考えながら尾平越えを目指し6:30出発。7:21本谷山通過。尾平越手前1km地点の水場で補給出来なければ敗退しようと思っていたが、9:04何ら支障なく補給できてしまい途中敗退の言い訳を失う。

13:30九折越小屋を通過する頃から足取りが重くなる。笠松山をやっとの思いで通過した後は気力も衰えてしまった。せめて尾平越まで到達したかったが、15:30笠松通過後の標高1,500m付近を本日のビバークポイントとした。夕食を済ませ、ようやく暗くなった時刻にはツェルトに入る。着込めるだけ着込み、銀マット、シュラフ&シュラフカバーで何とか寒くはない。ところが夜中、少し体を動かすだけでツェルト内側に凍結した氷が顔面に降り注ぐ状態で、不快で長い一晩を過ごす。



(尾平越手前1km地点の水場)

気持ちを奮い立たせ再出発する。9:30ここで尾平越から本谷山を目指そうとしている今回初めての登山者を見る。尾平越からのルートでは、O原さん情報の古祖母山頂までの「嘘ピーク」を強く意識していたので、努めて視線を地面に集中したのが幸い、気分的にはあまり辛い思いをせず11:50古祖母山を通過できた。

13:39障子岳通過。徐々に落ちるペースに、本日は九合目小屋まで行けたらいいという言い訳を付けるが、障子岩から見るこれから先のアップダウンにうんざりし、障子岩先の烏帽子岩で大休止する。祖母山までは出来るだけ止まらずに一気に歩こうと決め、16:07祖母山頂。傾山が遠くに見え少しだけ感慨深い思いに浸る。16:40何とか明るいうちに九合目小屋に到着。小屋は私を含め8名である。管理人の代わりとして交代でボランティアとして定期的に来るとい方が薪ストーブに火を燈してくれたおかげで、少々煙たかったが快適な夜となった。

山小屋は現在無料となっているが、これはトイレが故障していたからというのが理由で、常駐はしていないが管理人やボランティアによる小屋の管理は引き続き行っており、管理をしなくなったから無料にしたという事ではないという事だった。

管理人から数年おきに起きていた遭難死亡事故のお話などを聞き、またもや宮原からの下山ルートを意識してしまうので、21:00 早々に寝ることにした。翌朝、祖母山登頂への各所は踏み跡がしっかりしていたため、日の出前 6:20 に山小屋出発。7:10 宮原では右へ折れる尾平登山口の標識に誘惑されつつも縦走を続けた。昨日一昨日と快晴続きだったが、最終日は朝から厚い雲に覆われ、昨日まで歩いた縦走路が全く見えない。感傷に浸ることも出来ず黙々と大障子岩を目指す。8:59 八丁越通過。これまでアップダウンはあるものの、概ね明瞭な縦走路だったが、八丁越からの岩稜帯は、岩壁を巻くために縦走路が稜線から左右に外れる。その上曇天で昨日までの縦走路が見えないため方角がわかりづらい。



コンパスでこまめに方角を確認しながら、間違った尾根を進んでいないことを確認しつつ先を進む。20分ほどで登頂出来るはずの大障子岩山頂に50分を要し 9:53 大障子岩。その後もルートが分かりづらい。11:59 最後の前障子岩はいったん縦走路を外れ左折して山頂まで数十メートル進むのだが、もうどうでもよくなりパスした。

(前障子岩への分岐、標高差で 10m 程度)

最後に、これまで単なる荷物の一つになっていたピッケルを試しに試してみたところ非常に小回りが利き大変有効であった。ピッケルの活用で、祖母山頂付近や各所の山頂直下付近で使用していれば体力の温存になったと悔やまれた。これが本日の収穫である。

14:28 下山、消化試合のような 3 日目を終える。武田市で入浴して帰宅した。